（1）　（明治25年3月28日第3種郵便物認可・昭和24年2月17日運輸省特別現送許第16号）　THE JOMO SHIMBUN　平成元年（1989年）3月7日（火曜日）　第33798号　（日刊）

上毛新聞
発行所（〒371）前橋市古市町1－50－21
上毛新聞社
電話（代表）(0272)51－4341
有限責任中間法人
（編集）51－4344
（広告）（総務・事業）51－4392
（広告）51－4347
（制作）51－4345（業務）51－4363

© 上毛新聞社　1989

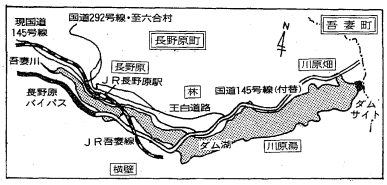
美しい花嫁づくりひとすじ
ウェディングコレクション
錦荘（きんそう）
前橋51（みなとは）3787

国道145号線 ルート変更

ハッ場ダム概略計画

建設省が部分提示

王白道路4.9キロを追加



吾妻郡長野原町の吾妻川に計画されているハッ場ダム建設問題で、建設省は六日、国道145号線、JR吾妻線の付け替えルートを、水没住民の移転計画を同町と同町議会、水没五地区対策連絡会議に提示した。提示されたルートは国道145号線で、同国道から国道292号線に続けるB道路が追加されたほか、昭和五十五年に示された住居用建築の当初計画に大幅な変更はない。水没住民にとっては、将来の生活の住となるだけに各地区で、これをもとに協議に入っていく。

概略計画の提示は、昨年十一月の予定だったが、川原湯地区で一部住民との間で意見の食い違いから調査が遅れ、全体計画に大幅のズレが生じ、同地区を除いた部分提示か一括提示かで結論が出なかった。しかし、先月二十五日の水没五地区対策連絡会議で、建設省の部分提示が了承された。

提示されたのは、ダム湖の北側を走る国道292号線北側ルート（福岡一丁目）、吉窪橋、川原湯地区を除くJR吾妻線の概略ルートと川原畑、横壁、林、長野原西地区の移転用代替地。

県が生活再建案示したのと異なるのは、国道145号線のルート前会長佐藤恒夫（建設）理事を特捜部に、NTT前会長真藤恒（元）と、東京都杉並区善福寺ハイツ東京都杉並区善福寺ハイツ東京都杉並区善福寺ハイツ